

# 目次

刊行にあたって i

はじめに iii

第1章	1.1	
ICTと現代の知的財産権 1	ICTに取り囲まれた現代	1
	1.2	
	企業における知的財産および知的財産権	2
	1.3	
	日本における知的財産と知的財産権	5
第2章	2.1	
メディアの歴史と知的財産権制度の変遷 13	はじめに	13
	2.2	
	知的財産権制度の起源と展開	15
	2.3	
	我が国における知的財産権法の展開	24
第3章	3.1	
知的財産法制全体の概観 40	憲法的価値と知的財産権制度	40
	3.2	
	デジタル・ネットワーク社会の知的財産	42
	3.3	
	知的財産法の体系	43
	3.4	
	知的財産制度と所管官庁	45
	3.5	
	知的財産権の内容	46
第4章	4.1	
産業構造の高度化を支える知的財産権 50	知的財産権と産業構造の高度化	50

4.2	特許法と特許権	51
4.3	実用新案法と実用新案権	55
4.4	意匠法と意匠権	56
4.5	半導体集積回路の回路配置に関する法律と回路配置利用権	58
4.6	種苗法と育成者権	59
4.7	不正競争防止法上の営業秘密	62
<b>第5章</b>		
<b>消費生活に浸透し消費行動を誘引する知的財産権 66</b>		
5.1	‘ブランド’とは	66
5.2	商法と商号権	67
5.3	商標法と商標権	69
5.4	商品等主体混同行為の規制	72
5.5	著名表示冒用行為の規制	73
5.6	ネーミングライツ（命名権）	74
5.7	ドメインネームの規制	75
5.8	商品形態の模倣の規制	76

第6章	6.1	
一部の職業的創作者からすべての人たちが創作公表する時代の知的財産権 78	著作権制度のアウトライン	79
	6.2	
	権利者の視点から	80
	6.3	
	利用者の視点から：著作権制限	83
	6.4	
	データベースの著作権	85
	6.5	
	ウェブページの著作権	85
	6.6	
	技術的制限手段迂回装置提供行為の規律	87
	6.7	
	著作隣接権	89
	6.8	
	映画の著作物	90
	6.9	
	パブリシティ権	93
第7章	7.1	
ICT ユーザから見た著作権——生活の中の著作権—— 95	私たちの生活と著作権—デジタル技術による変容	95
	7.2	
	授業やサークル活動で著作物のコピーを使えるか？	97
	7.3	
	論文・レポート作成における著作権問題—「引用」と「コピペ」の境界	101
	7.4	
	図書館における著作権	103
	7.5	
	「地デジ」や衛星放送と著作権	106

	7.6		
	レンタルとリップニング		108
	7.7		
	着うたを利用する		109
	7.8		
	動画共有サイトを利用する		111
	7.9		
	P2P ファイル共有ソフトウェアの利用		114
<b>第8章</b>	8.1		
<b>コンピュータソフトウェアと知的財産権 118</b>	コンピュータソフトウェアに関連する知的財産権		118
	8.2		
	ソフトウェアと特許		119
	8.3		
	ソフトウェアと著作権		124
<b>第9章</b>	9.1		
<b>コンピュータソフトウェアビジネスと知的財産権 134</b>	コンピュータソフトウェアビジネス		134
	9.2		
	ソフトウェア販売ビジネスと知的財産権		135
	9.3		
	ソフトウェア知的財産権ビジネス		138
<b>第10章</b>	10.1		
<b>コンテンツ流通ビジネスと著作権 143</b>	はじめに—コンテンツ流通・動画共有ビジネスの隆盛		143
	10.2		
	コンテンツ流通のビジネスと流通形態		144
	10.3		
	コンテンツ流通における著作権およびライセンス		151

<b>第11章</b>	11.1	
<b>オープンソースソフトウェアと コモンズの思想 170</b>	オープンソースソフトウェアの広がり	<b>170</b>
	11.2	
	オープンソースソフトウェア (OSS) とは何か	<b>171</b>
	11.3	
	フリーソフトウェア運動から OSS へ	<b>176</b>
	11.4	
	OSS のライセンス	<b>180</b>
	11.5	
	著作物の自由利用の意思表示	<b>184</b>
	11.6	
	結語—コモンズの思想	<b>186</b>
<b>第12章</b>	12.1	
<b>DRMの技術と法 191</b>	デジタル権利管理 (DRM) とは何か	<b>191</b>
	12.2	
	DRM の基礎技術	<b>194</b>
	12.3	
	デジタル情報流通における DRM	<b>198</b>
	12.4	
	DRM の解除・無効化を防ぐ法律	<b>201</b>
<b>第13章</b>	13.1	
<b>ICTにかかわる標準化と知的財 産 208</b>	規格と標準	<b>208</b>
	13.2	
	標準化とは何か	<b>209</b>
	13.3	
	標準化機関, 組織	<b>214</b>
	13.4	
	標準化プロセス	<b>218</b>

	13.5		
	標準化と知的財産		218
<b>第14章</b>	14.1		
<b>ICT企業の知財・標準化戦略 223</b>	パテントプール		223
	14.2		
	企業の知的財産戦略		226
<b>第15章</b>	15.1		
<b>ICTの将来と知的財産権 231</b>	ICTの将来		231
	15.2		
	動揺する知的財産権制度の今後の展開		234
	15.3		
	社会的に最適な著作権の保護水準はあるか		235
	15.4		
	まとめ		238
<b>索引</b>		<b>241</b>	